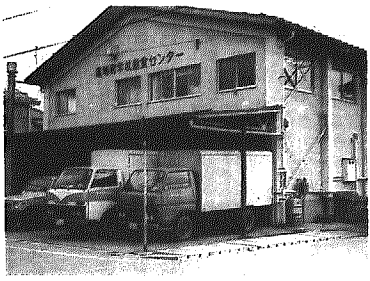


は。②現給食センターは衛生面で安全と評価できるのか。町長 ①現在の給食センターは昭和45年に建築されたもので、老朽化が進んでいる。平成3年に完成すべく検討している。県へは計画を提出してある。平成2年に具体的な計画を検討。②現在のセンターは床面積452平方メートル、1日3200食作っている。いたみがひどく補修工事しつつ運営。特に衛生面には気を配



現在の給食センター

っている。昭和63年8月、水質汚濁防止法が改正され、床面積500平方メートル以上、1日の排水量50立方メートル以上の施設は浄化槽の設置が義務づけられたが、現在の給食センターは床面積も排水量も基準に達していない。教育長 ①教育委員会だけで決めるのは荷が重い。検討委員会を作ってやった方がいいのでは。メンバーについては町長部局と検討に至っていない。年あけには仕事に入りたい。2年7月には計画ができては困る。2年11月に実施計画。3年3月に認定書提出。6月に内示、7月に申請交付というスケジュール。②職員一同、衛生面に気を配り、ネズミ・ゴキブリ等出ないように努力。最近ほとんど出ないとの報告。

高速鳥原バス停駐車を拡幅するのか

拡幅する。工事は平成2年9月以降に
A議員 北陸自動車道について ①黒崎地内の各インターチェンジの名称とその理由は黒崎インターチェンジは黒崎インターチェンジという名称にしている。大筋では合意、拡幅することにした。現在、農業振興地域からの除外を行うべく関係者の承諾を得よう手続中。③道路公団新潟管理



高速鳥原バス停

国道8号線の大野大橋の拡幅について

平成2年度から事業化したいと建設省
A議員 国道8号線の整備状況について ①大野大橋の拡幅について ②凸凹の補修工事について ③交通安全対策上どうであるか。町長 ①新潟国道工事事務所、北陸地建で建設省として平成2年度から事業化したとのこと。しかし、建設省による信濃川の河川改修、県による中ノ口川の河川改修が進められているので、県と建設省の協議が整ってから施工することになる。②今年の夏は真夏日が続き路側帯が盛り



国道8号線

在宅寝たきり老人に訪問歯科診療を

県が来年度から巻保健所管内で実施
B議員 ①在宅寝たきり老人に訪問歯科診療制度の実施を。②在宅寝たきり老人介護手当金制度の実施を。6月議

に要望。
農政課長 農地費の関係で、広域農道の事業負担金は国52.5%、県32.5%、地元15%、広域関連農道は国50%、県25%、地元25%、農免農道は国120分の63、県120分の37、

やる気ある農家育成に農地の流動化を

農業用地利用促進事業を活用していく
C議員 農業者対策について ①農業従事者の高齢化が進んでいるが、農用地の流動化対策としてやる気のある農家を育成するため、農地の貸借問題を行政として考えなくてはならないと思う。②農業後継者の育成について。若者同士が集まって交流する場を設けるとか、嫁・婿不足の問題も欠かせないのでは。町長 ①農業委員が貸し手・借り手の相談役となる農業用地利用促進事業を活用していく。一定期間、意欲ある農家と貸借借を設定するもので、期限が来ると自動的に貸借借が解除になるもの。②ソフトの活動として、昭和56年度から地域の担い手20人に1年間、農地・税制・先進地視察

事務所が管理しているので、そこを協議し、善処する。総務課長 ②平成2年1月中旬に農振変更申請、6月に認可がもらえる予定。土地売買契約は9月で工事はそれ以後になる。買取しようとしている面積は1681平方メートル。企画開発課長 ①新潟西インターは、8月26日付けの道路公団からの名称の決定通知書がきているが、それ以前に名称に関する相談はなかった。そのこと協議し、善処する。農政課長 ②平成2年1月中旬に農振変更申請、6月に認可がもらえる予定。土地売買契約は9月で工事はそれ以後になる。買取しようとしている面積は1681平方メートル。企画開発課長 ①新潟西インターは、8月26日付けの道路公団からの名称の決定通知書がきているが、それ以前に名称に関する相談はなかった。



12月議会

福祉センター内に作業所を併設しないか

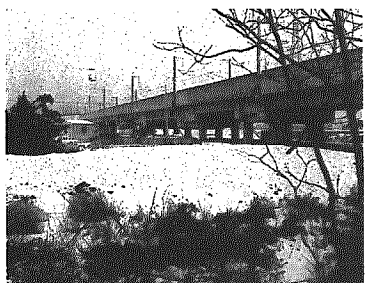
ふれあいの家を引き寄せたい
D議員 来年度、建設予定の仮称老人福祉センター内に通所作業所を併設する考えはないか。町長 併設は考えていないが、

公園を新設することに対する考え方は

土地区画整理事業などで公園づくりを
E議員 公園、児童遊園の新設整備計画について。現在、町内に23か所あるが、いずれも面積が小さい。①新設の考え方は。基金条例を作り少しずつ積み立ててはどうか。②農村公園の完成時期はいつか。③排泥池の公園計画は。④既設の児童遊園や児童広場に児童厚生員が配置されているか。果崎町児童遊園設置条例には配置することが明記されているか。町長 ①原則的には新設の考



整備された金巻諏訪神社裏の池にフナを放流



農村公園予定地

土地改良事業の農家負担の軽減対策は

国県に補助率よくしてもらうよう要望
C議員 土地改良事業について ①強制減反や米価据置きにもかかわらず土地改良費だけが上がる。農家負担の軽減対策は。②土地改良事業は、本格的には農家自身が自主的に行うべきと法的に定められているが、農家の意向がまとまらないまま国県の押しつけた事業も負担しなくてはならない。町長 ①国営・県営のかん排事業では補助率は農家負担だったが、現在実施のものは町が2分の1程度負担。広域農道・農免農道・農道舗装は補助金の全額を町が負担。地沈対策では補助率6%のうち4%負担。②事業量が大きく、農家・町の負担が大きくなる。国・県等の補助率をよくしてもらうほかはないのでそのよう

え持ってやっていきたい。都市計画事業で3%以上を公園緑地にあてることになっているし、調整区域でも同じ考え方と考えていただいて結構。例として、的場・緒立の土地区画整理を今やっているが、23.7ヘクタールのうち黒崎8.3ヘクタール、その3%の2反半が公園緑地になる。このような方法で公園づくり、土地利用計画をしていきたい。②来年度、多目的共同利用施設的设计が見込まれる予定。平成4年度完成が考えられる。二つ同時にはできないため、農村公園は平成5年以降になる。ただし、その前に暫定的供用は可能。③フナを放流し、たくさん釣りが集まっている。周辺の農道・田んぼを免許証の更新を町内などでできないか
E議員 自動車運転免許証の原付を冬、西署でできるよう交渉する
更新手続きについて、黒崎町内か新潟西警察管内の施設でできないか。町長 施設が近代化され、前より迅速に。確かに遠くなったが、これだけの交通戦争、3年に1回行って研修を受けるのもいいのでは。原付だけ12月から3月まで西警察署で書替えてはどうか、お願いしている。今の段階では受け入れられないという状況。粘り強く交渉していく。